



人の動き

人口：30,972（+48）
男：14,988（+23）
女：15,984（+25）
世帯：10,512（+33）
（平成18年3月1日現在）

主要な事業（抜粋）

歴史街道整備事業：散策路・資料館の整備【継続】
水環境保全整備：ホタルの生息調査【新規】
障害者福祉計画の策定【新規】
（仮称）阪神北広域小児急病センター設計費負担【新規】
中小企業振興資金融資あっ旋制度【新規】
清水仁頂寺線新設改良工事【継続】
木間生旭ヶ丘線道路新設改良工事【継続】
第二名神対策：環境現況調査【新規】
大島小学校・楊津小学校改築事業【新規】
つつじが丘小学校・白金小学校増築事業【新規】
学校施設整備費：小学校耐震補強工事【新規】
学校安全対策事業：ナンバーディスプレイ設置【新規】
兵庫国民体育大会費【継続】
救急活動費：公共施設にAEDの設置【新規】



このように状況のもと、本町は合併せず、単独での行政運営が望ましいと判断し、本町自身を地域自治組織として、また基礎的自治体として、今後さらに複雑多様化する

昨年12月には月平均気温が20年ぶりの低温となり、日本海側を中心に記録的な大雪となりました。これにより除雪

2月24日に開会した第330回町議会定例会において、真田町長は、町政全般にわたる平成18年度施政方針を表明しました。これは、今年度に行う事業に対する町の考えを示したものです。この施政方針の各施策や事業概要をお知らせします。全文は町ホームページに掲載しています。また、役場総合窓口にも設置しています。

真田町長が平成18年度施政方針を表明

作業に自衛隊を派遣するなど、近年に例を見ない状況となっており、多数の死者、重軽傷者が出ております。不幸にも命を落とされた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、町の財政状況をみますと、歳入の大きな柱となっている町民税は、地方税法の一部改正などにより増加が見込めるものの、固定資産税は地価の下落の影響などから減収となるなど厳しい財政状況となっております。

行政課題の解決に取り組むとともに、国が示しております新地方行革指針に基づき、職員定数や給与の適正化、指定管理者制度の導入による民間委託の推進など、行政全般にわたる改革を積極的に進め、地域の特色を生かし、創意と工夫を凝らしながら、愛着のもてるまちづくりに取り組んでまいります。

特性である豊かな自然や、銀山地域をはじめとする貴重な歴史遺産を町内外に広くPRするための散策路や資料館を整備するとともに、自然再生、環境保全などの分野で相互に協力して地域の自然環境を守っていくため、新たに県立人と自然の博物館と包括的連携の協定を結び、清流猪名川を取り戻そう町民運動をはじめとした取り組みのさらなる推進を図るなど、自然環境と調

和したまち、「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」の実現に向けた魅力あるまちづくりに、住民の皆様方とともに手を携えて取り組んでまいります。安全で安心なまちづくりに向けては、「参画と協働の仕組みづくり」をはじめ、「地域担当職員制度の充実」、「子育て支援の充実」、「高齢者の健康増進対策」、「団塊世代の新たな生きがいづくり」、「地域の自主防災

健康福祉のまちづくり

平成17年度に整備いたしました「ふれあいの径」につきましては、新年度から供用開始し、高齢者や障害のある方などを中心に、散策しながら楽しく健康づくりや機能回復訓練が行えるように広く役立ててまいります。

また、昨年度に策定しました「いなつこきらきらプラン（猪名川町次世代育成支援行動計画）」に基づき、新年度には子育て支援ホームヘルパー派遣制度を新設し、産後の家事援助を行うことにより、負担の軽減を図ってまいります。

第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」でレスリング競技を成功させるため、平成17年度に開催しましたハイスカル大会の検証を踏まえ、「夢と感動を与える国体」を合言葉に全国から訪れる方々と感動と歓びを分かち合える大会となるよう進めてまいります。

創意と工夫を凝らした愛着のもてるまちづくり

教育文化のまちづくり

学校施設につきましては、耐力度不足による校舎改築を計画しています。楊津小学校および大島小学校は、新年度より施設整備工事を進めるほか、猪名川小学校および松尾台小学校の校舎耐震補強工事などを実施してまいります。

また、昨年度に策定しました「いなつこきらきらプラン（猪名川町次世代育成支援行動計画）」に基づき、新年度には子育て支援ホームヘルパー派遣制度を新設し、産後の家事援助を行うことにより、負担の軽減を図ってまいります。

魅力ある都市環境を築くまちづくり

第二名神自動車道建設計画につきましては、用地買収6車線、工事施工暫定4車線で計画した地元設計協議が進められることから、地元混

質の高い生活を実現する安全で快適なまちづくり

本町の豊かな自然環境を保全し創造するため、平成17年度、環境基本計画を策定いたしました。今後は、この計画に基づき住民・事業者・行政の役割を明確にする中で、環境の保全などに取り組んでまいります。

産業のまちづくり

農業生産基盤である農地の整備を進めるため、笹尾地区のほ場整備事業を進めるとともに、新たな担い手である集落営農組織の育成に取り組んでまいります。

本町は、豊かな自然資源に恵まれていることから、近畿自然歩道に加え、平成16年度から整備を進めております歴



町の魅力を発信する観光ボランティアガイド

今月号の主な内容

2面「地域コミュニティ部門を設けるなど63人を異動」3面「第3期介護保険料が決定」4面・5面「平成18年度当初予算が可決」6面「情報ポケット」7面「図書館、相談」8面「いながわ特派員報告」